



**First Response Training
International®**

スタンダード&プロシージャーマニュアル

FIRST RESPONSE TRAINING INTERNATIONAL®

firstresponse-ed.com

ファースト・レスポンス・トレーニング国際基準と手順
パート1イントロダクション

First Response Training International®
スタンダード&プロシージャーマニュアル

発行元 : International Training®

電話:(888) 778-9073 | ファックス : (877) 436-7096

firstresponse-ed.com | worldhq@internationaltraining.us

© 2018, by First Response Training International®

著作権に関して : 無断複製禁止。日本で印刷されています。1976年の著作権法で許可されている場合を除き、本書のいかなる部分も、発行元の書面による事前の許可なく、いかなる形式または手段によっても複製または配布すること、あるいはデータベースまたは検索システムに保存することを禁じます。

商標 : First Response Training International®はInternational Training®の登録商標です。

国際標準図書番号/ISBN:978-1-61011-050-1

Product ID #:520100-01

目次

1.	スタンダード&プロシージャーマニュアル	1
2.	簡単な概要	2
3.	First Response Training International®倫理規定および行動規範	3
3.1	イントロダクション	4
3.2	あなたとFirst Response Training International®.....	4
4.	インストラクターマニュアルの使い方	6
4.1	目的.....	6
4.2	このマニュアルの使用方法.....	6
5.	First Response Training International® - プロフェッショナルインストラクション	8
5.1	スタンダード化されたインストラクションの必要性	8
5.2	インストラクターの役割.....	8
5.3	素晴らしいインストラクターになるために	9
5.4	リスクマネジメント	10
5.4.1	防衛的に教える	10
5.5	イントロダクション	11
5.5.1	訴訟の要素.....	12
5.5.2	免責同意書の適切な使用	12
5.5.3	免責同意書の記入と署名	13
5.5.4	スチューデントトレーニングレコード	14
5.5.5	まとめ	14
6.	First Response Training International®一般メンバースタンダード .	16
6.1	一般.....	16

6.2	各国地域事務局の所属手続き	16
6.3	アクティブティーチングステータス	17
6.4	保護観察(Probation/プロベーション)ステータス	17
6.5	ノンティーチングステータス	17
6.6	一時停止(Suspended/サスペンデッド)ステータス	18
6.7	除名(Expelled/エクスペルド)ステータス	18
6.8	ファースト・レスポンス・トレーニング	19
6.8.1	一般品質保証(QA)手順	19
6.8.2	不問措置	19
6.8.3	保護観察(Probation/プロベーション)処分	20
6.8.4	一時停止(Suspended/サスペンデッド)処分	20
6.8.5	除名(Expelled/エクスペルド)処分	20
6.8.6	アメリカ本部における品質保証(QA)手順	20
6.9	定義	21
6.10	フォーム各種	21
6.11	エグザム(学科テスト)	22
6.12	プロフェッショナルのクロスオーバー要件	22
6.13	2年更新/リフレッシャーポリシー	22

改訂履歴

改訂 ナンバー	日付	変更
0918	08/03/2018	イニシャルスタンダード
0519	05/21/2019	6.1 参照セクションが7.13から6.13に変更されました 6.13 「2年更新/リフレッシュ・ポリシー」を変更。
0120	01/01/2020	6.13 「注：」詳細説明を追加
0121	01/01//2021	変更なし

ファースト・レスポンス・トレーニング国際基準と手順

パート1イントロダクション

0221	02/01/2021	変更なし
0122	01/01/2022	6.1 インストラクターがコースの必須教材を所持する必要があることを明確化 6.13 インストラクタートレーナーステータスを維持する方法を明確化
0123	08/25/2022	6.1.5 メンバーシップ規約の項目追加 6.3.4 アクティブステータスを維持するためのティーチング条件を明確化 6.7 正当事由による一時停止または退会の条項を追加
0124	01/01/2024	1.注文および講習生認定手続きの明確化

1. スタンダード&プロシージャーマニュアル

このマニュアルには、First Response Training International®インストラクターとして活動するために必要なすべての関連情報が含まれています。この情報はすべて、firstresponse-ed.comのメンバーエリアから入手できます。

このマニュアルは、便利なりファレンス(参照)ガイドとして保管してください。フォームは、注文の処理、講習生認定など、必要に応じてコピーできます。オリジナルをそのまま残すか、フォームをオンラインで確認し、必要なときにマスターコピーとして使用することをお勧めします。

アメリカ本部 :

ファーストレスポンストレーニングインターナショナル

フリーダイヤル:888-778-9073

Fax:877-436-7096

eメール : worldhq@tdisdi.com

ウェブサイト : firstresponse-ed.com

注文は24時間いつでもeメールで地域事務局へ送信できます。講習生認定はfirstresponse-ed.comのメンバーエリアで可能です。

私たちのプロフェッショナルスタッフが、皆さんのビジネスニーズ、ご質問、ご不明な点など、喜んで対応させていただきます。私たちは皆さんの信頼に感謝し、最高のサービスを提供することを目標としています！

2. 簡単な概要

International Training Inc (ITI)は、一般救助者のニーズを満たすためにFirst Response Training International®を設立しました。ITIには、さまざまな活動で実践的および技術的に複雑ないくつかのコースを実施する教材の開発およびインストラクターへのサポートの経験があります。ITIはその知識を活用して、時代にそぐわない未熟な一般救助者市場に応用し、より優れた、より多くの知識を持つ救助者を生み出すことを目指しました。

3. First Response Training International®倫理規定および行動規範

- もしインストラクターが、ある講習生には自分の大切な人に対する応急手当をさせられないと判断した場合は、その講習生はFirst Response Training International®の一般救助者として認定されるべきではないと、私たちは考えます。また、もしインストラクタートレーナーが、ある候補生には自分の大切な人にファーストエイドを教えることは許可できないと判断した場合は、First Response Training International®インストラクターとして認定されるべきではないと、私たちは考えます。
- First Response Training International®プロフェッショナルは良い模範となるよう、常に自身の心身の健康状態を維持しなければならない。
- First Response Training International®プロフェッショナルは、常に器材をメンテナンスし、不具合のある器材では決してコースを行わない。
- First Response Training International®プロフェッショナルは、プロフェッショナリズムと客観性の維持に努める。
- First Response Training International®プロフェッショナルは、コミュニティから要請があれば、講習会の開催や、質疑への回答、書籍出版や雑誌寄稿などを通じて、自分の知識を伝えるためにあらゆる努力をする。
- 自らの意思でFirst Response Training International®メンバーに加わったプロフェッショナルは、First Response Training International®の発展に貢献し、First Response Training International®が採用した公式決定を支持する責任と義務を負う。当該組織に対するこの義務を果たすにあたり、First Response Training International®インストラクターおよびインストラクタートレーナーは、以下の事項を守らなければならない：

 - 組織の一員としてFirst Response Training International®を公にサポートする
 - 改善が必要な場合は、権限および責任のある立場にあるFirst Response Training International®メンバーと直接連絡を取り、プロフェッショナルな方法で実現するためにあらゆる努力をする。
- 全てのFirst Response Training International®メンバーは、スタンダード違反や倫理規定違反を報告する義務がある。
- 全てのFirst Response Training International®メンバーは、講演、記事や書籍、インターネット上での様々な言論活動など、あらゆる活動において、プロフェッショナルとしての行動と倫理的行動の模範となるよう努力する。
- 仲間に対する不正確な批判や意図的な扇動言動は不適切であり、慎むべきである。

3.1 イントロダクション

First Response Training

International®のインストラクターとして、あなたは業界で最も先進的な教育機関のメンバーです。以下の親会社であるInternational Training®によって設立されました。Technical Diving

International® (TDI)は世界最大かつ最も先進的なテクニカルダイビング教育機関、Scuba Diving International®

(SDI)は世界で最も急成長しているスポーツスクーバダイビング教育機関、Emergency Response Diving International® (ERDI)は最大のパブリックセーフティダイビング教育機関です。First Response Training

International®は、過去の慣習を新しい技術に基づいて再評価し、講習生の実際のニーズを反映した一般救助者の指導を行うべきだという理念のもとに設立されました。

真の学習を確保するスタンダードは、First Response Training

International®プログラムの基盤です。First Response Training

International®は、従来の慣習のみに基づく旧来の教育プログラムを見直し、科学的データと常識を用いて新たなガイドラインを定めました。First Response Training

International®は、新しいテクノロジーを活用したトレーニングを一般救助者は最初から受けるべきだと考えています。

3.2 あなたとFirst Response Training International®

インストラクターとして、First Response Training

International®ファミリーでのあなたの役割は何よりも重要です。あなたは、教育的かつ先進的な指導を一般救助者に提供するアンバサダーなのです。あなたのアイデアや経験はFirst Response Training International®の成長に欠かせないものであり、First Response Training International®が常に最先端を走り続けるためにあなたのご意見は非常に重要です。

我々の役割は、その知識を講習生に伝えるためのツールを提供することです。あなたがキャリアを通じて培ってきた知識のほんの一部でも、1回のコースで習得しようとするれば、彼らは圧倒されてしまうでしょう。したがって、新しい講習生が実際に必要とするトレーニングを受けられるよう、選別することが非常に重要です。この知識体系は非常に重要であるため、First Response Training International®は、どの知識とスキルが最も重要かを見極めるために、膨大なりサーチと努力を注いできました。

First Response Training

International®は、講習生にとって最も重要な情報を吟味し、実証済みの教授法を提供しています。この重要な中核パッケージを講習生に提供できるかどうかは、あなたのインストラクターとしての能力にかかっています。良い講習を提供できるのは、First Response Training International®とあなたとのパートナーシップによるものなのです。

ファースト・レスポンス・トレーニング国際基準と手順
パート1イントロダクション

4. インストラクターマニュアルの使い方

4.1 目的

First Response Training

Internationalインストラクターマニュアルは、安全で楽しいトレーニングを提供するためのガイドとして作成されました。First Response Training

Internationalインストラクターが一貫性を保ち、質の高いトレーニングを提供するために遵守しているスタンダードと手順をまとめたものです。

スタンダード&プロシージャーでは、講習生がFirst Response Training

International認定を取得するために必要な「コア知識」の概要についての説明が記述されています。そして最後に、重要なことは、このマニュアルは講習生が実際に必要とするスキルや知識を効果的に提供できるようにすることを目的としています。

First Response Training

Internationalスタンダード&プロシージャーマニュアルは「生きたマニュアル」であり、定期的に更新され、あなたのキャリアと共に成長し変化していくものなのです。随時、マニュアルのアップデートが届きますので、これらのアップデートを速やかに取り入れ、マニュアルを常に最新の状態に保つようにしてください。

4.2 このマニュアルの使用方法

このマニュアルは意図的に簡単かつ簡潔にまとめられています。マニュアルは複数パートから構成されています。

以下のパートで構成されています：

1. コーススタンダード
2. リーダーシップスタンダード

Part 1 イントロダクション：

- スタンダード化されたインストラクションの必要性
指導の一貫性と卓越性に対するFirst Response Training International®の進歩的なアプローチを説明
- インストラクターの役割：
First Response Training International®ファミリーでのあなたの重要な役割を強調
- リスク管理：
あなたのキャリアを失う可能性のある問題から身を守るのに役立つ詳細情報の紹介

- 素晴らしいインストラクターになるために：
プロとして尊敬されるような、より良い指導者になるためのヒント
- First Response Training International®コースの実施方法：
コースのスケジュールと講習生の受け入れに関する一般的なアプローチの説明。トレーニングのスケジュール管理、講習生の人数管理、講習料の徴収、講習生が全セッションに出席する意欲を高めるためのロジスティックスや詳細に焦点を当てたものです。

Part 2 コーススタンダード：

- First Response Training International®で現在実施されているコースのリスト

Part 3 リーダーシップスタンダード：

- First Response Training International®で現在実施されているリーダーシップコースのリスト

5. First Response Training International® - プロフェッショナルインストラクション

5.1 スタンダード化されたインストラクションの必要性

インストラクターには個性があり、そのため、彼らはおのずと個々の指導スタイルを持ちます。First Response Training International®では、独自の指導スタイルや個性を自由に発揮してもらいたいと考えています。ただし、他の全てのFirst Response Training International®講習生と同じコア知識や実績のある指導方法をあなたの講習生にも提供することを条件としています。First Response Training International®インストラクター開発コースに反映されているのは、厳選された知識を実証済みの指導方法で一貫して提供するというコンセプトです。

標準化されたコース内容と指導方法を用いれば、さまざまな利点があることは明らかです。

- コース構造は標準化されているため、個々の講習生のニーズなど、より重要なことに集中できます。
- インストラクターは、一部のトピックに時間をかけすぎて他のトピックを犠牲にしてしまうという事態に陥りにくくなります。講習生は、インストラクターが費やす時間に比例して、テーマの重要性を認識することができます。
- インストラクターが重要なトピックを誤って省略してしまう可能性も低くなります。
- もし訴訟が起きた場合でも、国際的な教育機関が開発した実績のある標準化されたプログラムを遵守して講習生を指導した場合、インストラクターは擁護されます。
- プレゼンテーションは、より実践的でプロフェッショナルに見えます。
- インストラクターはよりプロフェッショナルに見え、実際プロフェッショナルであるでしょう。

5.2 インストラクターの役割

First Response Training International®のカリキュラムと指導法を用いて指導することには、非常に大きなメリットがあります。しかし、インストラクターであるあなたがまだやるべきことは何でしょうか？たくさんあります！最高のインストラクションプログラムでさえ、それを適切に提供する人がいなければ真価を発揮できません。なぜでしょうか。カリキュラムが効果的であると期待できるとしても、講習生の能力や環境はいつも同じではありません。トレーニング、経験、および判断力を備えたコースで、全てをまとめることができるのはあなただけです。インストラクターだけがこの三つの要素を、安全で楽しく、レベルの高い学習体験に融合することができるのです。

講習を開始すると決まったら、逆算して一連の判断を下す必要があります：

- クラスの定員を何人とするか、また、何人のアシスタントが必要か？

- コースにどのような人が参加し、どのような年齢層の混合グループになるのか？(15～72歳?)
- 人間関係が妨げにならないか？(支配的な親や束縛するパートナーなど)
- どのような雰囲気最適か？
- eラーニング中心とするか、それとも講義中心とするか？
- eラーニング学習と教室での授業をどのように融合するか？
- どうすれば講習生がすべてを理解していると判断できるか、また、良く理解できていない講習生に対しどのように指導するか？
- 習熟度が最低限の講習生を認定するかどうか？

判断はインストラクターに委ねられています！First Response Training International®のバランスの取れたカリキュラムと実績のある指導方法という強固な基盤があっても、講習生を指導する上で最も重要な要素はあなた自身であることは明らかです。

5.3 素晴らしいインストラクターになるために

優れたインストラクターは、まず第一にプロフェッショナルに徹しています。人生のあらゆる側面において、あなたが最も尊敬する人について考えてみてください。、彼らは共通して、高いプロフェッショナル性を持っていることでしょう。指導において、プロフェッショナリズムは成功にも安全にも不可欠です。そして私たち一人ひとりが「プロの証とは？」と問いかけることが大切です。

- プロフェッショナルは、例えば一般救助者トレーニングといったビジネスを提供し、強く関心を持ってもらうために必要な知識とスキルを習得する。
- プロフェッショナルは、最新のテクノロジーとその変化を常に把握している。
- プロフェッショナルだ。
- プロフェッショナルは、提供したサービスに対して報酬を得る。
- プロフェッショナルは、オープンマインドで公平であるよう努力する。
- プロフェッショナルは、自己管理が徹底されている。
- プロフェッショナルは、次のような模範を示す：
 - 身体の健康
 - 倫理的な姿勢
 - ポジティブな姿勢や価値観
 - 他人への配慮(例えば時間を守る)

最初から「生まれつきのプロフェッショナル」であることはありません。「自然に」プロフェッショナルになることもありません。私たちの多くにとって、*プロフェッショナルになるには大変な努力と、長期にわたる高い目標へのコミットメントが必要です。*同様に重要なことは、プロフェッショナルであり続けるということは、新しいアイデアや技術に寛容であり続けながら、自分の職務の行動原則に対する長期にわたるコミットメントを意味します。プロフェッショナルインストラクターであることの最も難しい部分は、一般救助者トレーニングとはほとんど関係ありません。私たち

の多くにとって、本当の課題は人間関係の個人的な側面にもっと密接に関係しています；*忍耐力*、*寛容さ*、*自制心*、*自分自身の感情と向き合う意欲*、*変化を受け入れる能力*などである。

- 変化は避けられないものです。時には楽しいこともあり、しばしば苦痛なこともあり、また通常はその変化に対応するのに費用もかかります。他の業界と同様に、これは私たちの業界でも発生するでしょう。だからこそ、その変化を最大限に活かす方法を学ぶ必要があります。
- 新しいアイデアが良いものであれば、それを受け入れていきましょう。
- 新しいアイデアが良くないと思うなら、誠実に議論し、理性的に反論すべきです。もし私たちが正しければ、良くない考えは自然に消滅していくでしょう。
- 変化が起こることに期待してください。そうすれば失望することはありません。
- より良いアイデアがあるのなら、それに基づいて行動し、自ら変化を起こしましょう！

私たち自身の感情が、トラブルのもととなることもあります。私たちが関わる人々や置かれた状況が必ずしも好ましいわけではありません。そしてこのような人々や状況が私たちの行動に悪影響を与えることもあります。その悪影響が起こっていることにさえ気づかないこともあります！したがって、自分自身の感情に気づき、正直になり、対処しようとするのが重要です。目標は、その状況から抜け出し、自己肯定感と生産性を高めることです。

自制心は、プロフェッショナリズムのために不可欠な要素です。私たちは皆、ある問題に対して強い感情や思いを抱くものですが、あなたの講習生たちはあなたに心のバランスと常識を求めることでしょう。極端な行動や意見を避け、競合他社や講習生を公に批判することは避けましょう。さもないと、あなたが大きな損害を被ることになります。

寛容さは、成熟度と経験の表れです。プロフェッショナルは、「全てのタイプ」の人に対処することが求められます。人々の中には、あなたのように良識があり豊かな人間性を持ち合わせていない人もたくさんいます。しかし、それこそあなたがインストラクターである理由の一つです。

忍耐力は、偉大な指導者達の共通点です。人々は異なる方法で、異なる速さで学びます。もしインストラクターの教え方が遅すぎたなら、何人かの講習生は退屈します。しかし、あまりにも速く教えたなら、残りの講習生にとって理解できないものになります。さらに重要なことは、もしインストラクターが、講習生が理解するスピードが遅いことに我慢できない態度を見せてしまうと、講習生は不愉快に感じるでしょう。講習生は、集中力を失い、最終的にはインストラクターを不快に感じるでしょう。もしインストラクターが忍耐強く接すれば、ほとんどの講習生は有能な一般救助者になるために楽しく学ぶとともに、あなたのプロ意識に敬意を払うようになるでしょう。

5.4 リスクマネジメント

5.4.1 防衛的に教える

インストラクターへの最高のアドバイスは、『想定外の状況が発生することを想定しなさい』です。言い換えると、全てが良い方に、または計画した通りに進行すると思っははいけません。自分が出した指

示がすべて受け入れられるということを決して当然だと思てはいけません。慎重なインストラクターは、講習生がブリーフィング内容と異なる突飛な行動を取ることを予測してきました。つまり、彼らは突発的に起こりうる無数の不測の事態を常に先回りして考え、事故を未然に防ぐための迅速な対策を練っています。

覚えておいてください：監督者の全体的な目的は、講習生にスキルを学ぶ機会を与えることであり、間違いがあった場合、インストラクターはそのような間違いを、厳しいサバイバルテストではなく、ポジティブな学習体験に変える手助けをします。

インストラクターは、全てのプログラムをスタンダードに従って指導することが非常に重要です。スタンダードは、講習生が自立し独立した活動ができるよう成長させる知識とスキルのカリキュラムを提供します。

また、トレーニングスタンダードは、万が一事故が発生し、インストラクターが訴訟において自らの行為を正当化する必要が生じた場合の、弁明資料でもあります。最新のスタンダードに準拠して指導し、定期的な変更に応じてコース内容をアップデートすることは、あなたの責任です。コーススタンダードについて不明な点がある場合は、First Response Training International®のトレーニング部門にお問い合わせください。もし現地の法律や規制、使用器材等についてスタンダードを逸脱する必要があると思われる場合は、アメリカ本部から書面による免除を受けなければなりません。これらはケースバイケースで評価されます。事前承認を求めることなく、コーススタンダードから外れてよいとは決して考えないこと。

インストラクターが保険に加入して最善を尽くして教えることが最も理想的です。この場合、もし事故が発生したとしても、保険会社が弁護士費用を負担してくれるでしょう。私たちはまた、理性的な陪審員であれば、私たちができる限り最善のトレーニングを行ったと確信し、私たちの過ちを無罪とするだろうと信じたい。しかし、実際にはそう簡単なことではありません。私たちの社会は訴訟社会になってきており、業務上のリスクを軽減するプロトコルを学ぶことが最善の方法です。

5.5 イントロダクション

すでに30年以上前からスキー学びたい人に対し、このような危険に対してスキーリゾートやインストラクターへの傷害の責任を問わないという内容の免責及び権利放棄書に署名するよう要求することがスタンダード化しています。潜在的な危険を持っているスポーツ(スノーモービル、ATV、スケートボードパーク、スカイダイビング、ハンググライダーはもちろん少年サッカーや野球リーグなど)も、参加者に対し事前に危険性について告知するための免責書の使用とそれに付随するリスクマネジメントが日常的に行われるようになってきました。

今日の法廷訴訟において、プロフェッショナルインストラクターには「リスクマネジメント」が最も重要です。幸いなことに、インストラクターが比較的簡単なステップを踏むことで、有利になる確率を高めることができます。まず第一歩は、プロフェッショナルインストラクターの賠償責任保険に加入することです。

今の世の中は、つま先をぶつけただけでも法的訴訟が起き、教育プログラムにおいて事故について十分な注意を払っていなかったという理由で敗訴することもあります。私たちの特有かつ明確なニーズに

対応する保険がなければ、膨大な訴訟費用から身を守ることはできません。実際、無実のインストラクターの弁護を成功させるための費用は、保険による保障がなければ、個人やその会社を倒産させてしまう可能性も大いにあり得ます。しかし、保険に入るだけでなく、可能な限り慎重に行動し、講習生、自分が担当するプロバイダー、そして自分自身を守るために、リスクマネジメントの基本的な側面を把握することが重要です。

5.5.1 訴訟の要素

次に、基本的な個人傷害の法律を見てみましょう。原告(あなたに対して訴訟を起こした個人またはその相続人)が金銭的な被害を補償するためには、4つの要素が必要です。

1. 原告は、自分が受けた金銭的、物理的な損害を証明しなければなりません。
2. 原告は、あなた(インストラクター)が安全な環境でトレーニングや監督を提供しなければならない義務があることを証明しなければなりません。
3. 原告は、あなたが故意または怠慢により、その義務に違反したことを証明しなければなりません。
4. 最後に、原告は損害があなたの過失によって生じたことを証明しなければなりません。

もちろん、彼らが参加する活動にリスクが伴うことを承知するよう求める免責同意書に署名してもらいます。これは、参加者が事前に関連した危険性について説明を受けて、潜在的な危険性とその結果としての負傷や、死亡する可能性がある事実を十分に理解した上で、意図的に参加を決定するという「説明された上での選択」の基本であります。だからこそ、適切に作成された免責同意書は、リスクマネジメントの一環として絶対に欠かせないものなのです。

5.5.2 免責同意書の適切な使用

このツールを第一の防衛手段として考えてほしい。これは、あなたと講習生の間で交わされる契約書であり、基本的には以下のような内容となっています：「潜在的な危険があり、ここにあなたが死傷する可能性のあるすべての危険性を記します。あなたはこれらの危険性を理解し、事故が起きても私を訴えないことに同意するものとします。」果たしてそんな単純なことなのでしょうか？そうとは言い切れませんが、そこに近づいて行っています。では、免責同意書作成の手順と、それを有効に機能させる方法について見ていきましょう。

私たちは既に、訴訟についての基本的な原則を説明しました。ここからは裁判になる前に訴訟を防ぐリスクマネジメントや、告訴された場合に被害を最小限にする手段を見てみましょう。私たちがここで強調したいのは、インストラクターが利用できる免責同意書や各種フォームを積極的に使うということです。通常、このフォーム類には、一般賠償責任の免責とリスク負担への同意書が含まれています。インストラクターやプロバイダーは、このような書類を適切に使用せずに活動を行うべきではありません。事故が発生した場合、これらの書類は、自分を保護するのに不可欠なものとなります。

免責同意書の目的は、講習生とインストラクターの間で契約を結び、トレーニングで行われる活動の性質について一定の理解を定めることです。しかし、単に多くの書類に署名を求めるだけでは十分とは言えません。

アメリカ合衆国内の多くの州では、講習生に十分に考える時間を与えずに免責同意書を作成することを強制したり、金銭的損失の恐れがある状況下で免責同意書を作成することは、それだけで適用除外の理由となります。

最初にまず、講習生にケアの提供に伴う固有のリスクと危険性についてきちんと理解してもらわなければなりません。(フォーム各種はfirstresponse-ed.comのメンバーエリアでダウンロード可能です)その内容をよく見ると、この文書には発生が十分に予想される危険を具体的に示すさまざまな情報が含まれていることに気づくでしょう。そして、文書には、参加することを決めた場合にはこのようなことが起こる可能性がある、はっきりと説明されています。

一言で言えば、それがこの書類を使用することの理由なのです。署名した人はそのリスクを理解し、そのリスクを受け入れることができましたでしょうか？そして、そのような免責同意書に署名することによって、インストラクター側の過失も含め、予想される危険に対して訴える権利を法的に放棄したことを、その人は理解していたのでしょうか？

First Response Training International®免責同意書の詳細は、次のセクションで紹介しています。

しかし、人々が何でもないことで互いに訴え合うような現代社会では、自分を守るために、法廷で対応できる準備をしておかなければいけません。とても時間がかかるので心して取り掛かってください。十分に時間をかけて正確な免責同意をまとめて準備してください。そうでなければ、とてつもなく大きな代価を払うことになる恐れがあります。

利用可能なリスクマネジメントツールを必ず使用し、防衛的に指導をしてください。
そのアドバイスを銀行に持っていくことができます。

5.5.3 免責同意書の記入と署名

次に、免責同意書の実務的な事項を見てみましょう。

講習生には、重要な契約に署名する前に、十分な検討ができる適切な環境を作ってください。インストラクターは講習生がコースに参加する際に、参加条件として免責同意書に署名しなければならないことを説明しなければなりません。そしてその免責同意書は、実際のコース当日前までに十分な余裕をもって講習生に提供されるべきです。

トレーニングが始まる直前に講習生へ免責同意書への署名を求めるのは、免責同意の原則に反します。特に講習生たちが署名を拒否すると既に支払われた料金から違約金を徴収することがあることを示唆した場合にはなおさらです。精神的な圧力や財政的な損害を含み、どんな形式であれ強要した事実が認められた場合には、裁判官は免責同意書を認めず、講習生に同情的な判決を下すでしょう。

免責同意書を作成することは、認定後の活動に参加する講習生との関係においても最も重要な手続きの1つです。まず最初に、この書類が彼らと彼らの家族の法的権利を規定する正式な契約という事実を説明

しなければなりません。これは潜在的に危険な活動であり、事故はコース中にもコース終了後の緊急事態にも発生する可能性があることを再確認してください。講習生に免責同意書を読んでもらい、所定の欄にイニシャルと署名をしてもらう。

講習生は、緊急事態に応急手当を提供することは危険であり、潜在的な病気につながる可能性のある血液または他の体液にさらされる可能性があることを理解する必要があります。

未成年者は、彼らの法的保護者が免責同意書に署名しなければなりません。未成年者は、免責書類を単独で作成し法的責任を負うには幼すぎると見なされるためです。可能な場合は保護者に最初の学科講習に同席してもらうか、講習生が免責同意書とともに自宅へ戻った後、成人の講習生と同じように保護者に電話をして説明することをお勧めします。

講習生が免責同意書の内容を変更してしまうと、有効性が失われてしまうことがあるため、変更しないように注意してください。フォームの全ての項目が記入されているか、イニシャルと日付と署名が正確に記入されているか確認してください。*(米国)州によっては、訴訟が却下されるようにするために弁護士が異議申し立てを行う際、第一の防御手段として免責同意書が認められない場合があります。しかし、免責同意書は陪審員を説得するための証拠資料とすることができます。この証拠資料は、講習生が適切に説明を聞き、危険に対して十分理解した上でトレーニングに参加することのリスクを承知した場合にのみ有効です。

5.5.4 スチューデントトレーニングレコード

スチューデントトレーニングレコードを使用して、必ず講習生がエグザムとスキルを完了したという証拠を残さなければいけません。このスチューデントトレーニングレコードは、免責同意書、クイズ、エグザムなどを保管するためのものです。これらの書類は7年間保存する必要があります。もちろん、トレーニング中に事故が発生した場合、この書類はすぐに使用されます。またスチューデントトレーニングレコードは、認定後に発生した事故により訴訟が起こされ、原告が「最初のトレーニングを担当したインストラクターが教育内容を全て指導していない」、「講習生がエグザムで間違えた問題や習得できなかったスキルテクニックをインストラクターが再教育しなかった」と主張される場合には、更に重要な意味を持ちます。トレーニングプログラムが進行するにつれ、トレーニングレコードを常に最新の状態に保つよう注意し、講習生のパフォーマンスが不十分な場合は、それが適切に完了するまで必ず再確認して記録するようにしてください。

5.5.5 まとめ

リスクマネジメントは非常に重要です。全ての項目を真剣かつプロフェッショナル的にカバーしなければならず、油断してはいけません。教育機関のコーススタンダードを厳守し、事故が起こりうる状況を予測してコースを教えるようにしてください。時にこれは現実的には難しい場合もありますが、このようにすることが講習生を守ることにもなり得ます。

事故は発生する可能性が常にあります。その事故は、誰にもコントロールできない、あるいは予想できない状況によるものかもしれません。しかし、人々が何でもないことで互いに訴え合うような現代社会

では、自分を守るために、法廷で対応できる準備をしておかなければいけません。つまり、免責同意書とスチューデントトレーニングレコードを正確に作成し保管する必要があります。

利用可能なリスクマネジメントツールを必ず使用し、防衛的に指導をしてください。

6. First Response Training International®一般メンバースタンダード

このスタンダードは、以下のFirst Response Training International®リーダーシップポジションに適用される：

- インストラクター
- インストラクタートレーナー

6.1 一般

1. インストラクターとインストラクタートレーナーは、一般スタンダードの6.13に詳述されている「2年更新/リフレッシュポリシー」を遵守する必要がある。
2. メンバーは、First Response Training International®コースを教える前に、更新済みアクティブティーチングステータスであり、適切なインストラクターランクを保持していることを確認する必要がある。First Responseインストラクターとインストラクター候補生は、自分が実施するまたは受講する全てのコースにおいて、当マニュアル内のPart2とPart3コーススタンダードにリストされている必須教材を所持しなければならない。
3. 全てのコースは、特に記載がない限り12ヶ月以内に修了されなければならない。
4. 全てのFirst Response Training International®コースで推奨；講習生は、以前に受講したコースでの必須スキルを新しいインストラクターの前でデモンストレーションしなければならない。
5. 新会員は、署名した会員同意書に指導者レベル登録書類を添えて提出しなければならない。

6.2 各国地域事務局の所属手続き

1. メンバー(インストラクターおよびIT)は、次のガイドラインに従って居住国を管理している地域事務局に所属する必要がある。
2. メンバーは、4か月以上の期間、その地域に居住している。
3. メンバーがコースを指導するために別の地域に渡航する場合は、継続的に4か月以上その地域で過ごす場合を除き、その地域事務局の一員とはみなされない。
4. すべての新会員は、居住国の地域事務局に登録し、所属することが義務付けられている：
5. インストラクタートレーナーは、リーダーシップ申込書を適切な地域事務局に提出する必要がある。

6. インストラクタートレーナーは、新しいダイブプロフェッショナルを登録する地域事務局が不明な場合、First Response Training International®アメリカ本部に問い合わせること。
7. メンバーは、所属する地域と一致する住所をユーザープロフィールに登録する必要がある。
8. 所属する地域外に渡航し活動するメンバーには、現地の法律、規則、規制が適用される場合は、その規則に精通するため、また現地の地域事務局への礼儀として、コースを実施する地域を管理する地域事務局に連絡することを強く推奨する。

6.3 アクティブティーチングステータス

アクティブティーチングステータスを有するインストラクターは、以下のスタンダードに同意しなければならない：

1. 年会費を全額支払わなければならない。
2. 全ての過去未納金を全額支払わなければならない。
3. 該当する地域の法令に従い、現在加入している賠償責任保険の証明を提出しなければならない。
4. 過去2年間に、少なくとも1回First Response コースを指導するか、アシスタントしなければならない。全てのインストラクターは、First Response Training International®コースの指導およびFirst Response Training International®プロバイダーを認定するには、必ずアクティブティーチングステータスを有していなければならない。
5. 全てのリーダーシップスキルを実行できなければならない。

6.4 保護観察(Probation/プロベーション)ステータス

インストラクターは、以下のような理由により、保護観察ステータスとなる場合がある：

1. 未払いが90日を超える場合
2. アクティブティーチングステータスの条件に違反した場合
3. 講習スタンダードに違反した場合

保護観察ステータスに置かれたインストラクターは、First Response Training International®コースを指導することや、First Response Training International®講習生を認定することができる。さらにスタンダード違反があると、インストラクターは保護観察ステータスから一時停止ステータスまたは除名ステータスに移動する可能性がある。

6.5 ノンティーチングステータス

インストラクターは、以下のような理由により、ノンティーチングステータスとなる場合がある：

1. 未払いが90日を超える場合
2. 一時的に一時停止ステータスとなった場合
3. アクティブティーチングステータスの条件に違反した場合

ノンティーチングステータスになったインストラクターは、**First Response Training International®**コースを指導することや、**First Response Training International®**講習生を認定をすることができない。

6.6 一時停止(*Suspended/サスペンデッド*)ステータス

インストラクターは、以下のような理由により、一時停止ステータスとなる場合がある：

1. 120日が経過しても未払いを解決するための努力をしなかった場合
2. アクティブティーチングステータスの条件に違反した場合
3. 講習スタンダードに違反した場合

一時停止ステータスになったインストラクターは、**First Response Training International®**コースを指導することや、**First Response Training International®**講習生を認定をすることができない。さらにスタンダード違反があると、インストラクターは一時停止ステータスから除名ステータスに移動する可能性がある。

6.7 除名(*Expelled/エクスペルト*)ステータス

インストラクターは、以下のような理由により、除名ステータスとなる場合がある：

1. 120日が経過しても未払いを解決するための努力をしなかった場合
2. 一時停止ステータスまたは保護観察ステータスに複数回置かれた場合
3. アクティブティーチングステータスの条件に違反した場合
4. 講習スタンダードに違反した場合
5. プロフェッショナルインストラクターとしてふさわしくない行為を行った場合

除名ステータスに置かれた**First Response Training International®**インストラクターは、**First Response Training International®**コースを指導することや、**First Response Training International®**講習生を認定をすることができない。また、除名処分を受けたインストラクターは、**First Response Training International®**のメンバーではなくなる。

注：First Response Training

International®は、スタンダード違反が発生したという判断に基づいて、個人を一時停止処分、除名処分、または退会を命ずる権利を留保する。

理由による会員資格の停止または解除- International

Trainingは、会員が何らかの行為を行った場合、会員資格を停止または解除することができます：

(i) (A)重罪、または(B)薬物または酩酊物の反復使用を伴うもの、または(ii)International Training、その親会社、子会社、関連会社、またはそれらの役員、取締役、従業員、または顧客のビジネス上の誠実性を貶め、International Trainingのビジネス上の評判に重大かつ悪影響を与えるもの。

6.8 ファースト・レスポンス・トレーニング

品質保証(QA)手順

品質保証の問題は、ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルの世界本部では、トレーニング部によって処理される。これは地域事務局とセールスマネージャーたちが最終決定において中立的な立場を保障するためである。

6.8.1 一般品質保証(QA)手順

一般品質保証(QA)とは、優良メンバーが最近登録した講習生にランダムに送付するコースサーベイレターを指す。一般コースサーベイレターは、指導の質を維持し、適切なトレーニング教材が使用されたことを確認するために送付される。

- このレターは返送用封筒を同封した郵便で送付されるか、またはコースサーベイレターeメールにて送信される。
- 全てのコースサーベイレターは、First Response Training Internationalアメリカ本部トレーニング部門に転送される。
- 英語以外を話す講習生には、その講習生が使用する言語に翻訳される。

First Response Training

International®プロフェッショナルの資質に疑問が生じた場合、次の4つの措置が考えられる。それらは：

1. 不問措置
2. 保護観察(Probation/プロベーション)処分
3. 一時停止(Suspended/サスペンデッド)処分
4. 除名(Expelled/エクスペルド)処分

6.8.2 不問措置

不問措置とは、トレーニング部門へ提供された情報が不十分、または根拠がないと判断される場合を指す。

6.8.3 保護観察(Probation/プロベーション)処分

保護観察ステータスは、そのメンバーが登録した全ての講習生にコースサーベイレーターを送付することを義務づけるものであり、そのメンバーがコースを教えることを制限したり、妨げたりするものではない。このステータスは、通告なしにメンバーに適用されることがあり、通常は短期間のみである。保護観察ステータスは、メンバーがFirst Response Training International®のスタンダードや倫理規定に従って行動していない可能性を示唆する情報がトレーニング部門に報告された場合に使用される。また、トレーニング部門の判断により、書面での申し立てがなくても、メンバーは保護観察処分を受ける場合もある。

6.8.4 一時停止(Suspended/サスペンデッド)処分

一時停止ステータス処分を受けたメンバーは、トレーニング部門が決定した期間または条件の下で、いかなるコースの指導も行うことが許されない。その条件は、一時停止ステータス処分の理由とともに、書面でメンバーに通知される。メンバーが一時停止処分を受けるのは、自身に対する嫌疑に15日間の異議申し立て期間が与えられ、且つトレーニング部門がその嫌疑について完全な調査を行った後である。

6.8.5 除名(Expelled/エクスペルト)処分

除名処分を受けたメンバーは、First Response Training International®プログラムの指導が無期限に禁止される。メンバーが除名処分を受けるのは、本人の行動を是正するためのあらゆる試みが尽くされた後、または除名が唯一の是正策であると判断された後である。除名処分は、トレーニング部門が徹底調査を行った後、International Training®アメリカ本部プレジデントによってのみ下されます。

品質保証(QA)に関する問題は全て機密事項として扱われ、アメリカ本部トレーニング部門の許可がない限り、外部のインストラクターやファシリティと共有されることはない。地域事務局やセールスマネージャーは、品質保証(QA)問題に関する情報取得の協力を求められることがある。

暫定的なステータスまたは復帰トレーニングを受けるには、全ての要件が満たされるまで、処分の決定を保留しておく必要がある。

6.8.6 アメリカ本部における品質保証(QA)手順

Step

1 : アメリカ本部トレーニング部門が、スタンダード違反または倫理違反を申し立てる書面またはコースサーベイレーターを受け取る。書面には、スタンダード違反や倫理違反を目撃した報告者の署名が必ずされていないと認められない。(電子署名も可能)電話での申し立ては認めない。

Step 2 : First Response Training

International®アメリカ本部トレーニング部門は、データベースをチェックして問題になっているプロ

フェッショナルの現在のステータスを確認する。アメリカ本部は全ての連絡先情報を入手すると、本人に対して違反報告を受理したという事実を通知する。通知は、最初に電話またはeメールで伝え、そのあと書面で通知する。

Step

3 : 通知書には、品質保証(QA)違反の疑いが記載される。通知を受けたダイブプロフェッショナルは、15日以内に書面にて異議申し立てをすることができる。

Step

4 : アメリカ本部は、当該ダイブプロフェッショナルが過去に認定した講習生にコースサーベイレーターを送る。もし苦情を申し立てた人物がインストラクターである場合には、そのインストラクターが認定した講習生たちにもアンケートを送る。

Step 5 : 全ての情報が提供され、それを調査した後、取るべき措置が最終的に決定される。First Response Training International®アメリカ本部トレーニング部門は書面にて、処分決定をメンバーに通知する。

Step

6 : 当該メンバーのステータスがデータベースに記録される。講習中に使用された教材や講習のクオリティについて収集した全てのデータは、アメリカ本部のデータベース内の当該インストラクターのファイルに記録される。

6.9 定義

監督

1. 直接監督 : 参加者のスキルを目で見て評価
インストラクターによる活動の導入と展開。直接監督では、コース内でのスキル紹介とテクニック開発の過程で、個人を観察し評価しなければならない。直接監督では、スキル紹介およびテクニック開発中、参加者に同行する必要がある。
2. 間接的監督 :
講習生のスキルパフォーマンスと参加者の活動の全体的なコントロール、全般的な観察、評価、指示をおこなうこと。インストラクターは、講習生が必要な場合に、すぐに助けることができる位置にいないといけない。

6.10 フォーム各種

メンバーが使用するために提供されたFirst Response Training International®フォーム類を、必要に応じてトレーニングコースで使用すること。First Response Training Internationalアメリカ本部から事前の承認がない限り、First Response Training Internationalが作成したものではない類似の書類を使用することはできない。First Response Training

International®が作成したものではない書類の使用許可は、トレーニング開始前に申請しなければならず、以下のような場合にのみ許可される：

1. 講習生またはインストラクターが理解できる言語で書かれたフォームが無い場合
2. 現地の法令に基づいて作成された書類が優先される場合

6.11 エグザム(学科テスト)

全てのFirst Response Training

International®ユーザーレベルやリーダーシップコースのエグザム(学科テスト)は、80%以上のスコアで合格であり、不正解部分についてはインストラクターと一緒に再確認し、100%理解しなければならない。80%未満のスコアであった場合、代替エグザム(学科テスト)が用意されている場合は、それを使用する。

6.12 プロフェッショナルのクロスオーバー要件

他のファーストエイド教育機関で認定されたプロフェッショナルは、その教育機関が発行した現在有効なプロフェッショナルランクの認定証のコピーを提出する必要がある。活動停止期間が5年未満の場合は、その機関から、その機関に復職する前にどのような要件を満たさなければならないかを明記した書簡を入手しなければならない。次に、候補生はクロスオーバープログラムeラーニングを完了し(候補生の言語で利用可能な場合)、適切なクロスオーバー申込書を記入し、現在有効なプロフェッショナルランクの証明、保険の証明(候補生の活動場所で必要な場合)、およびeラーニング修了を示す文書を提出する必要がある。

候補生が5年以上ノンアクティブであった場合は、当該教育機関のアクティブステータスを回復する前にどのような要件を満たさなければならないかを記した文書をその教育機関から入手しなければならない。

そして、ノンアクティブな期間が長いため、クロスオーバーしたいランクのIEC(インストラクターエバリュエーションコース)を完了する必要がある。

6.13 2年更新/リフレッシュポリシー

2年に1回のピアレビュー

全てのインストラクターおよびインストラクタートレーナーは、同等またはそれ以上の資格を持つインストラクター/インストラクタートレーナーと2年に1回のピアレビューを実施し、合格する必要がある。ピアレビューは、コーススタンダードに記されているように、該当コースの必須スキル達成条件と修了条件で構成されます。無事修了したら、ピアレビューを行ったインストラクター/インストラクタートレーナーはFirst Response Trainingインストラクター登録/アップグレードフォームに署名します。そのフォームは、インストラクター/インストラクタートレーナーの所属する地域事務局

またはアメリカ本部に提出する必要があります。インストラクター・トレーナーは、少なくとも2年に1回自分の持つ最高ランクのコースを実施することでITステータスを維持できます。

First Response Training International®ノンアクティブメンバーリニューアルポリシー

1. First Response Training

International®のメンバーで、2年以上リニューアルしていないが、別の公認ファーストエイド教育機関で指導しているインストラクターの場合、リニューアル要件には以下の「全て」が含まれる

:

- a. オンラインコースを修了する(アメリカ本部が発行するコード使用)
- b. 開催できるコースの最新版教材を全て購入するか、または所有していることを証明する
- c. 今年度のメンバーシップリニューアルおよび規約書を記入して提出する
- d. First Response Training International Member Update Form を提出し、その期間中のインストラクターとしての活動（過去2年間に他の公認機関において同等の格付けで教鞭を執ったことの証明を含む）を詳述する。
- e. First Response Training International®のノンアクティブ期間中、どの教育機関とも品質保証(QA)の問題がないことを証明する

2. First Response Training

International®のメンバーであるが、2年以上リニューアルをしていない、且つ他の公認ファーストエイド教育機関でも指導をしていないインストラクターの場合、リニューアル要件には以下の「全て」が含まれる:

- a. オンラインコースを修了する(アメリカ本部が発行するコード使用)
- b. 開催できるコースの最新版教材を全て購入するか、または所有していることを証明する
- c. 今年度のメンバーシップリニューアルおよび規約書を記入して提出する
- d. 過去2年間、どの教育機関とも品質保証(QA)の問題がないことを証明する
- e. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル・インストラクター評価コース(IEC)を、有資格のアクティブ・ティーチング・ステータスであるファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル・インストラクター・トレーナーの更新として修了する。
- f. メンバーアップデート登録申請フォームに記入し、アップデートを行ったインストラクター・トレーナーの署名を添えて提出する

ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル会員のアクティブ・ティーチング・ステータス・ポリシー

更新維持者

1. First Response Training

International®のメンバーであり、リニューアルはしているが、最高ランクコースの指導またはアシストを2年以上行っておらず、

しかし他の公認ファーストエイド教育機関では同等ランクの指導をしているインストラクターがアクティブティーチングステータスを回復するための要件は次の通り：

- a. 開催できるコースの最新版教材を全て購入するか、または所有していることを証明する
- b. 期間中のインストラクターとしての活動の詳細を記載したFirst Response Training International®メンバーアップデート登録申請フォームを提出する。これには、過去2年間の他教育機関での同等ランク指導活動の証明が含まれる
- c. 期間中、どの教育機関とも品質保証(QA)の問題がないことを確認する

または

a. アクティブステータスのFirst Response Training

International®インストラクタートレーナー(同じランクの指導資格がある)に、アップデート修了を証明するメンバーアップデート登録申請フォームを提出してもらう

2. First Response Training

International®のメンバーであり、リニューアルはしているが、最高ランクコースの指導またはアシストを2年以上行っておらず、且つ他の公認ファーストエイド教育機関でも同等ランクの指導をしていないインストラクターがアクティブティーチングステータスを回復するための要件は次の通り：

3. 過去2年間、どの教育機関とも品質保証(QA)の問題がないことを証明する
4. アップデートとして、アクティブティーチングステータスのFirst Response Training International®インストラクタートレーナーによるFirst Response Training International®インストラクターエバリュエーションコース(IEC)を修了する
5. メンバーアップデート登録申請フォームに記入し、アップデートを行ったインストラクタートレーナーの署名を添えて提出する

注意：First Response Training

International®アメリカ本部トレーニング部門または地域事務局がメンバーアップデート登録申請フォーム確認した後、追加要件やドキュメントが必要になる場合がある。5年以上、ノンアクティブだったメンバーは、アクティブステータスを回復するための追加要件があり、トレーニング部門に連絡する必要がある。

前述の全ての手続きについて、アメリカ本部からeラーニングコードを無料で入手することができる。

インストラクタートレーナーが、2年以上のノンアクティブ期間後に同ランクでのITステータスのリニューアルを希望する場合は、First Response Training

International®アメリカ本部トレーニング部門スタッフによるインストラクタートレーナーワークショ

ップ(またはITクロスオーバープログラム)に参加する必要がある。(無料)さらに、該当するインストラクターランクでの更新の要件も満たす必要がある。